



平城から平安京へ 恭仁京の意味

日本の都が大和盆地にあった時代と、平安京に移ってからの時代とでは、時代の雰囲気ががらりと変わります。国際色豊かな時代から国風文化へというのもその変化の一です。

都の位置が変わると、政治も経済も文化もなぜ変わるのでしょうか。聖武天皇によってなされた、平城と平安京の間に位置する恭仁京建設からその意義を探ります。

無料

2022年5月14日（土）13:30 ~ 16:00

けいはんなプラザ ラボ棟 11階「天の川+PLUS」

（定員 50 名、先着順）



パネラー

西村 さとみ 奈良女子大学副学長

古代遷都論の立場から

小路田 泰直 奈良女子大学特任教授

国家論の立場から

コメンテーター

斉藤 恵美 奈良女子大学特任助教

「大仏について」

大久保 徹也 徳島文理大学教授

「考古学から見た南山城」

主 催： 奈良女子大学

STEAM・融合教育開発機構

共 催： 株式会社 けいはんな

お問い合わせはメールでお願いします。
す。大学から連絡いたします。

参加申込 ⇒



問合先 奈良女けいはんな

narajo.keihanna@gmail.com

（QRコードが読み取れない方はこちらの

アドレスに氏名・連絡先を送信してください）

※You Tube「奈良女子大学けいはんな公開講座」チャンネル による同時配信

https://www.youtube.com/channel/UCt41KA5UMak2i6_L4BTLIHA

（申込み不要。時間になりましたら配信を始めます）